

地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



之・幌延深地層研究センターの推進について
裕・水害に関する防災対策について
西

幌延深地層研究センターの推進について

質問 深地層研究センターについては、国策上重要な研究機関であり地域経済へ及ぼす影響も大きいので、研究の継続と推進について取り組んで行くというが、具体的にどのような取り組みでいくのか。

町長 就任当初より、当初計画で示された500mの坑道建設や、三者協定に基づいた関連研究の推進への協力について、関係省庁及び機関に強く要請しているほか、視察等による活用推進について、提言させていただいている。
質問 町として、強く要請行動をしているという態度を示すことが大事。町民に向けての発信力が足りないと感じるが。

議長時代から、前町長と一緒に要請行動はしてきた。その継続性は変わらなく、強気に発信を続けていくという気持ちでいる。

今後、それぞれの場所でお話をさせていただきたい。

水害に関する防災対策について

質問 本町の災害の多くが河川の氾濫、大雨や洪水といった水害である。



北海道開発局から、問寒別川と天塩川下流の洪水浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫想定区域図が示されたが、どのような説明があったのか。また、地域防災計画等に変更が生じるのか。

質問 千年に一度の基準になって、実際どういう状況が想定されるのか。
町長 千年に一度とはいいながら、架空の話ではなく、札文町や下川町で実際に降った1時間降雨量の基準も入っていると聞いている。

町長 千年に一度の降雨をシミュレーションして策定されたものであり、実際に道北地方で河川氾濫があった際に観測された降雨も想定されたものであるとの説明を受けた。今後は従来の避難方法では対応出来ない可能性もあることから、地域防災計画の見直し、ハザードマップの更新、早期避難のための判断基準整備等も着実に進め、災害に強いまちづくりを推進していきたいと考えている。

問寒別地区については、避難場所の想定が今までのでは出来ず、大きく変更しなければならぬ。幌延地区も、全てではないが同じようなことがいえる。災害を百%防ぐことは難しいと思っているが、避難基準の設定や避難場所、避難経路をお示しすると共に、自主防災の大切さと、皆さんが防災に関心を持つような取り組みを考えていかなければならないと思っている。



悟・核最終処分場の指定について
見・いのちとくらしの問題について
驚

核最終処分場の指定について

質問 政府は、核最終処分場の科学的有望地を5箇所